

平成 29 年度 事業報告

ぬかちゃん手柄作業所 (生活介護・就労継続支援 B 型)

1 事業所の運営方針

障害者総合支援法に基づき、利用者の個々の状況に応じた多様な日中活動の提供を行い、それぞれの事業に応じたサービス支援の実施を図ります。地域との交流を深め、地域社会に開かれた施設運営を行い、適切なサービス提供を継続させます。平成 29 年度より、事業所の定員が増員となりますが、利用者及び家族の方々に、より手厚い支援を継続していただけるよう取り組みます。又、事業所間同士の連携を密にして、利用者の方に満足していただけるサービス提供に努めます。

地域の自治会等を活用しながら、地域住民の方々に事業所の PR 活動に努め、地域の福祉ニーズに沿った事業展開を図ります。

●障害者総合支援法に基づき適正に運営することができました。網干事業所と連携を保ちながら運営も軌道にのり個人に沿ったサービス提供ができました。

*生活介護事業

利用者の状況に応じて適切な食事、整容、更衣、排泄、移動等生活全般にわたる支援を継続します。嘱託医、看護師と連携をとりながら、日常生活上の健康状態、服薬、健康に関する相談、アドバイスを受けながら健康維持のためのサービスを提供します。

体力促進に努め運動ができる時間をつくり、個人に沿った体操、散歩、軽運動の時間をもって心身共に良い状態が保てるように努めます。

作業面において障害特性に応じた作業提供をより多くできるようにします。

●個別支援計画書をもとに、それぞれ利用者毎の障害特性に応じたサービス提供ができました。網干事業所と同様重度利用者の増加により、嘱託医、看護師と相談をしながら複雑化する障害特性の情報提供を行い、健康管理に努めました。また、運動する機会を積極的に設け身体機能低下に勤めました。

*就労継続支援事業 B 型

利用者が自立した日常生活が送れるように、生産活動、その他活動の提供を通じて社会生活に必要な知識、能力向上のための必要な支援を継続し、就労にむけて取り組みができるよう手厚い人員配置をなるようにします。

十分な作業量の確保をし、外部からの委託事業としての作業も継続して取り入れて、安定した工賃額の確保にむけての取り組みをします。また、工賃規程に基づき、公平な工賃

支給を継続させます。事業所の PR も兼ねて、企業へ作業依頼の営業活動も積極的に行き、取引先の企業数を増やし、地域との連携も深まるように努めます。また、就労へと結びつくように職員もそれにむけて研修受講をしながら取り組みをしていきます。

作業だけでなく、余暇活動も生活介護事業と連携をとりながら全員がより充実した行事に参加できるよう工夫をして変化をもたせます。クラブ活動の充実にも図り、余暇活動の楽しさも得られるように取り組みします。

●網干事業所と連携をとりながら、十分な作業量の確保に努めました。昨年に引き続き作業をする充実感、工賃を得る喜びを得ることが出来ました。利用者の出席率も 97%台となりました。

*平成 29 年度 施設行事、選択行事、クラブ活動、地域交流

生活介護と就労継続支援 B 型と合同で行っていきます。

<別紙のとおり、生活介護、就労継続支援 B 型と合同で実勢しました>

○施設設備管理業務

- ・利用者大掃除 8月
 - ・害虫駆除 毎月 月末
 - ・施設整備点検 毎月 月初
- (棟内、器具・備品、車輛運搬)

○健康管理業務

- ・年 2 回 医療機関で健康診断を行います。

●利用者全員、健康診断を受診しました。

- ・嘱託医、看護師と連携をとりながら月に 1 回、健康管理を行います。

●毎月 1 回、施設に訪問していただき健康管理、相談、アドバイスを行いました。

- ・必要に応じて定時薬、臨時薬の服薬管理を行います。

●必要な方に対しては、確実な服薬管理が出来ました。

- ・季節性インフルエンザの予防接種（希望者対象）を行います。

●10 月にほぼ全員の方対象に実施しました。

- ・休憩時間、土曜日の開所日を利用して積極的に運動を取り入れます。

●近隣の会館で運動する機会を取り入れて、個人毎の障害特性、年齢に応じて身体機能低下に努め、リフレッシュする時間を設けました。

- ・空気清浄機、加湿器、消毒器、次亜水生成薬での、手洗い、うがいの徹底、利用者、職員の清掃を毎日継続させて感染症予防に努めます。

●清掃は原則毎日実施し、年1回清掃業者にも委託して衛生面を徹底させました。感染症が発生しやすい時季には特に留意して感染症予防に努めました。

○娯楽面の充実

- ・施設行事、選択行事を積極的に実施します。
- ・家族の方と共に楽しめる日帰り旅行、宿泊旅行等の行事提供を行います。

●毎月の行事、定例行事の希望を聞き行事がマンネリ化しないように利用者の意向を取り入れながら実施しました。日帰り旅行で京都、姫路城散策、花見等季節感を取り入れながら、楽しめる行事を提供しました。網干作業所と合同で、運動会、クリスマス会、新年会、もちつき大会なども行い、相互の事業所間の利用者、職員同士の連携を十分とることができました。

○非常災害対策

- ・消防計画、防災計画、東南海地震防災規程に基づき、消防署の指導による消防訓練の実施をします。
- ・避難、救助、通報、消火訓練を実施します。
- ・緊急時全職員が対応できるように研修を行います。
- ・防犯強化に努めます。

●9月、3月に消防避難訓練を実施しました。また、毎日の防犯強化にも努めました。

○地域交流

- ・施設 PR を兼ねて、地域住民と交流できるような施設行事を図ります。

●網干作業所と合同で毎年恒例となっている施設行事を通じて交流することができました。地域の方々に対しても良い形で、施設の認知度が年々深まっています。

○地域の特別支援学校生の実習受入

- ・学校と連携を密にとり、事業所への理解を深めていただきながら利用者の増員に繋がるように積極的に受入を行います。

- 特別支援学校の生徒実習受入を行いました。施設利用希望にも繋がり、今後の利用者増に十分繋がることができました。施設に対する認知度も保護者間で十分深めることができました。

○家族との連携

- ・家族会を必要に応じて開催し、施設との連携をとりながら懇親を図ります。
- ・法人、行政の情報提供を行い、行事等への参加協力を促し、互いに交流を深めていきます。
- ・事業所に対しての要望、苦情等の意見提案がしやすいように普段から家族の方との信頼関係を築いて、相互の意思疎通をしっかりとっていきます。
- ・連絡帳、施設ホームページ等を活用して円滑なコミュニケーション、情報提供の発信を迅速に行います。
- ・面談を通じて、支援計画の見直しを定期的実施させ一層個々に沿った支援 が提供できるように保護者と連携をとりながらお互いに支援の在り方を考えます。

- 家族からの希望で網干、手柄の事業所合同で家族会を網干の事業所で開催し、お互いの家族間同士の懇親、施設からの情報提供をする場を設けました。それぞれの事業所でホームページを活用して日中活動の様子をわかりやすいように、できる限り更新し情報提供に努めました。

○給食計画

- ・家庭的な雰囲気のもと、楽しく食事ができるようにします。嗜好調査を行って利用者に喜んでいただけるように努めます。衛生管理には十分気を付け食中毒等が発生しないように細心の注意をはかります。給食業者についても、見直しを図りマンネリ化とならないように努めます。季節に応じた行事提供をし、食事提供も四季折々なものを提供できるようにします。

- 利用者の意向を取り入れながら、委託業者による食事提供を継続して行いました。行事を通じて施設以外で食事する機会を設け、食事の楽しみがもてるようなサービス提供を行いました。

○職員研修

- ・職員の支援技術の向上を図るために研修を充実させます。
- ・制度に関すること、利用者権利擁護等の各種研修にも積極的に参加できるように努めます。

- 毎日の朝礼に十分な時間を費やして、職員の資質向上となるように努めました。

またベテラン職員だけでなくできるだけ多くの職員が加わり、毎日 網干作業所との連絡会議を行い、作業確認、支援業務についての問題点等を意見交換しながら職員資質向上に努めました。

○職員健康診断

・職員に毎年1回（原則）、定期健康診断を実施します。

●9月に全職員対象に行い、職員の健康管理に努めました。

<会議>

連絡会議	朝礼（毎日）
職員会議	毎月（原則）
処遇会議	毎月
ケース会議	年に1回
給食会議	年に2回
感染症予防会議	年に2回
虐待防止会議	年に数回必要に応じて
防災会議	年に数回